

＜一般社団法人 佐賀県作業療法士会 理事運営会議 議事録＞

日時：平成 26 年 11 月 4 日（火）19：00～21：30

場所：佐賀県在宅生活サポートセンター 研修室にて（佐賀市神野東 2-3-33）

出席：倉富会長、小池副会長、江渡、前田、中倉、川辺、原、藤原、佐藤、寺崎、村岡、野崎、田平、鶴田、
本山、石原、熊谷（17名）

I. 報告事項

1. 九州士会長会関連

1) 第 2 回九州地区作業療法士会士会長会議及び合同士会長会議

・日時：平成 26 年 11 月 21 日（金）

(1) OT 九州支部会（15：00～16：50） (2) 九州 PT・OT 合同士会長会議（17：00～19：00）

・会場：アバンセ（佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター）

・出席者：倉富会長、山口副会長 ※追加で連絡兼議事録担当で熊谷参加。

・佐賀県の進捗状況報告、臨床実習指導者養成研修会 報告等

2) 九州県士会長主催研修会及び士会長会議（長崎県が担当）

・日時：平成 27 年 2 月 7 日（土）～8 日（日）・会場：長崎市立図書館 or 長崎市民会館（予定）

・内容：1 日目：地域包括ケアシステム、2 日目：コーチングの予定

2. PT・OT・ST 士会合同の訪問リハビリステーション研修会

・日時および会場：①平成 27 年 2 月 1 日（日）佐賀県医療センター好生館

内容：地域包括ケアシステムについて（仮） 川越 雅弘氏に依頼

②平成 27 年 3 月 1 日（日）佐賀中部病院附属老人保健施設

・予算：20 万円。PT 会、OT 会、ST 会 6：3：1 の比率で出資。OT 県士会 6 万円出資。

・当日対応者：実行委員+3 名（受付・接待・会場係）

・懇親会：1 月 31 日（土）懇親会に参加できる方を募りたい。

3. PT・OT・ST 士会合同研修会

・PT 士会の提案で今年度より開催。平成 27 年 3 月 8 日予定。

4. 佐賀県在宅生活サポートセンター関連

1) 平成 27 年度 1 年間について任意契約 県に申請書を提出。

2) 佐賀県からの監査あり。

3) テクノエイド協会 介護ロボット普及啓発事業 昨年に続き実施

・佐賀県老協へ依頼して普及活動実施。主な事業は展示、パロの使用、研修会開催

4) 介護の日のイベント 10 月 11 日（土）サポートセンターで開催 福祉機器の展示及びシーティング研修

5. がんリハ研修会

・佐賀がんリハ研修会主催で 10 月 4 日・5 日、佐賀大学医学部看護学科教室にて開催。約 28 施設参加。

・作業療法士コーディネーターとして堀保険部長が担当

6. 合同学会関連

・これまでに 23 回の準備委員会開催。最終調整のための会議 11 月 11 日、18 日予定

・実行委員には謝金を支払う。学会参加費も徴収しない。

II. 協議事項

1. 県士会関連

1) エキスパート育成事業

①認知症エキスパート育成事業：上城 OTR より提案

(理事意見)

- ・参加費は他のエキスパート研修と合わせて 1000 円を徴収すべき。
- ・エキスパートになったその後の展開は？在宅生活サポートセンターの事業とうまくリンクさせる。
- ・エキスパート候補者は各地区からバランスよく募る方が良い。
- ・予算案において 48 万円とやや高価であり、県士会全体の予算と鑑みて、見直しを行うべきでないか。
- ・協会からも提案されている事業なので、今年度には開催のきっかけは作りたい。

<結論>提案されている事業内容はとても良いものだが、予算は見直しをする必要がある。

⇒**継続審議**

②地域ケア会議エキスパート育成事業：倉富会長より報告

- ・地域ケア会議参加予定者及び市町村対応者、その他関係者等への研修会の開催（半日程度）を行う。
- ・地域ケア会議参加予定者および各市町村対応者の選定

⇒各地区担当部長を中心に各地区で候補者を選任していただきたい。

2) 「新たな財政支援制度」に係る事業提案：倉富会長より報告

①シーティング研修、②介護職への ADL・IADL の理解と支援方法

上記 2 つの事業を提案する。

⇒**承認**

3) 予算総会の廃止について：倉富会長より報告

- ・今年度より予算総会は開催せず、予算案のみ送付することはどうか。

<結論>

日本 OT 協会にならい、予算総会と決算総会を合わせて行う方向で考える。1 月の理事運営会議の中で次年度の活動計画および予算計画の承認を得た後、5 月の総会時に決算と合わせて予算案についても会員の方々に審議していただく。会員からの提案があれば、補正予算案を出す形で対応する。

⇒**承認**

III. 各部局からの報告

1. 学術局（江渡学術局長より報告）

①平成 26 年度 九州作業療法士会長会合同研修会について

- ・県士会から 1 名推薦。

②2015 年度 学術局活動計画

- ・研修会年間 4 回開催計画。エキスパート研修においても希望があれば学術部で委託運営可能。
- ・日本作業療法士協会主催 2014 年度重点課題研修「認知症に対する集団作業療法」において講師：川口淳一氏（結城病院）に内諾を頂いている。
- ・教育部関連において、次年度は選択研修を 2 回から 1 回に変更する。
- ・協賛研修の案内を行う予定。

⇒**承認**

⇒**承認**

2. 学術部（前田学術部長より報告）

①第 51 回学術研修会について

- ・平成 27 年 3 月 15 日（日）開催予定。
- ・内容は生活行為向上マネジメント
- ・講師は基礎として熊谷、実践として竹田綜合病院（福島県）の長谷川敬一先生で決定。

3. 教育部（中倉教育部長より報告）

①現職者選択研修について

- ・発達領域、9月21日（日）、西九州大学にて開催。16名の参加。▲約8,000
- ・精神領域、10月19日（日）、相知交流文化センターにて開催。13名の参加。▲約3,000

②現職者共通研修について

- ・11月16日（日）にメイトプラザにて4講座および事例報告・検討を開催する。

③生涯教育推進担当者会議の報告

- ・県士会費の納入についてや講師の質の問題（講師について基礎研修が終わっていないものであったり、認定OTの研修会において認定OTではない方が講師であるなど）が議題として挙げられた。
- ・生涯教育における研修管理に関しては、佐賀県代表として中倉教育部長と前田学術部長が担当となる。

4. 事務局（川辺事務局より報告）

①日本作業療法協会「特別表彰」について

- ・今回より「名誉会員表彰」「会長表彰」「特別表彰」の3種類になる。
- ・都道府県士会長から推薦するのは特別表彰。

*特別表彰：日本作業療法士協会もしくは我が国の作業療法の発展に特筆すべき実績を持って著しく寄与した者の表彰。

- ・特別表彰は、日常業務を超えて特別に銘記されるべき活動や業績。職務として当然行うべき業務はその従事した年数に関わらず対象とならない。
- ・都道府県士会等の活動における功績は、原則として本会表彰の対象としない。
（かかる功績は、その所属組織ごとの表彰などへ移行することを検討されたいとのこと）
- ・年齢や協会在籍年数は問わない。

⇒今年度は、佐賀県作業療法士会からの推薦なし

②総合福祉団体保険加入の勧誘

- ・弔慰金の団体加入に対して勧誘あり（太陽生命保険株式会社）
- ・死亡1件あたり、50万の支払となるが、そのための支払は年額463,680円となる。
- ・現在の士会では金銭的余裕もないため、事務局長判断でお断り。

③作業療法啓発ポスター

過去の分と合わせて複数種類持参。各施設のOT室へ掲示をお願いします。

④現在の県士会員 会員数457名（うち自宅会員14名） 107施設

5. 財務部（原財務部長より報告）

①財務管理について

- ・パソコン及び会計ソフト購入し、リストを作成・打ち込み中。
- ・これまでの決算表（1枚）より細かく分類され表示される（4枚程度）。

6. 広報部（藤原広報部長より報告）

①一般向けの広報誌第2号作成について

2点検討事案。

- ・広報誌のタイトル名称を考案してもらいたい。
- ・広告の掲載の問い合わせがあるが、広報は可能か？
（理事意見）

⇒・会員から公募して決定する方法がいいと思う。

- ・第2号発行が間もないので、今回まではタイトルは以前のままで発行したほうが良いのでは。
- ・広報誌に関しては対外向けであるので広告は掲載しないほうが良い。
- ・学術誌や学会誌は広告掲載してもよいと考える。1回いっくらかで今後検討したほうが良い。

<結論>

・広報誌（対外向け）のタイトルは2号までは以前どおり。その後会員に広報誌の名称を公募し、第3号より公募で決定したタイトルで発刊していく。

⇒承認

・広告掲載に関しては、広報誌は掲載しない。学術誌（機関紙）および学会誌は可能。

⇒承認

7. 事業部（寺崎事業部長より報告）

①在宅生活サポートセンター事業関連

- ・生活相談や認知症カフェについては継続して事業部員で関わっている。
- ・認知症カフェにおける家族との関わりや介入については事業部員の中でも意志統一を図れている。

②OT フェスタ：さがゆめタウン（イーストコート）で開催。日程：11/9（日）

- ・協力者31名、広報部4名、事業部17名、計52名の協力者あり。フェスタ前日に全体会議を実施予定。
- ・フェスタの広報に関しては今後も新聞社やメディアなど広報手段を考えていく。

8. 福利部（村岡福利部長より報告）

- ・OT フェスタ参加者のTシャツ配布予定。

9. 佐城地区（野崎地区担当部長より報告）

①第16回佐賀県作業療法学会について

- ・演題募集は送付済み
- ・内容は地域包括ケアシステム関連で講師選定中。候補としては和光市の東内氏、杵築市の江藤氏など。

※日程に関しては5月10日より変更 ⇒ 5月17日（日）アバンセにて決定となる。

会員には郵送およびHPにて連絡を行う予定。

10. 杵藤地区（鶴田地区担当部長より報告）

- ・地域ケア会議エキスパート候補および市町村の担当OTを人選（別紙資料5）

11. 東西松浦地区（本山地区担当部長より報告）

- ・伊万里地区で懇親会開催。地域ケア会議エキスパートなど人選中。

12. 在宅サポートセンター運営委員会（石原委員長より報告）

①テクノエイド協会の介護ロボット普及啓発事業へ応募

- ・3施設で事業を展開中。

②サポートセンター建て替えについて

- ・次年度より施行となるが、リハビリ工房やシーティングルームなどを考案中。

13. その他

①生活行為向上マネジメント推進委員会（小池副会長より報告）

- ・協会より生活行為向上マネジメントの幟を各県士会に作成する。幟のキャッチコピーを県士会で考案してもらいたい。理事運営会議では5案提出。

②CM連絡協議会より介護職員向けの研修会の講師依頼（前田学術部長より報告）

- ・唐津地区で開催分。認知症関連（唐津：1/20（火））、福祉用具（唐津：1/23（金））前田学術部長担当。認知症関連（伊万里：2/24（火））。